

## 事業内容

第2電気室は昭和46年建設から50年以上が経過し、建物および受配電盤の劣化が著しい。受変電室は、体育館、西・東研修員宿泊棟、研修棟、食堂といった重要な施設へ電力を送る中枢である。建物の外壁は斜面に接し、当該箇所からの雨漏り等が原因で停電事故の恐れもある。

また、本受変電設備は耐用年数(15年)を大きく超えており、老朽化が著しい。故障した場合、受注生産のため交換部品もない状況である。以上のことから、受電設備の施設・設備の一新を図るものである。



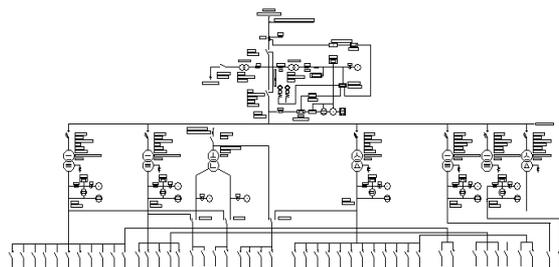
雨水侵入状況



端子接続部の発錆



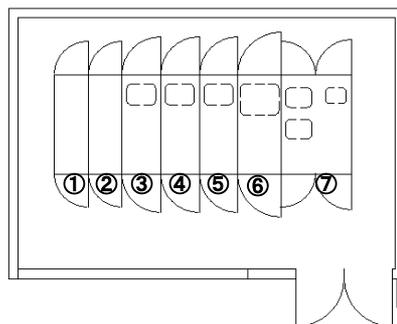
端子接続部の発錆



単線結線図

### 凡例

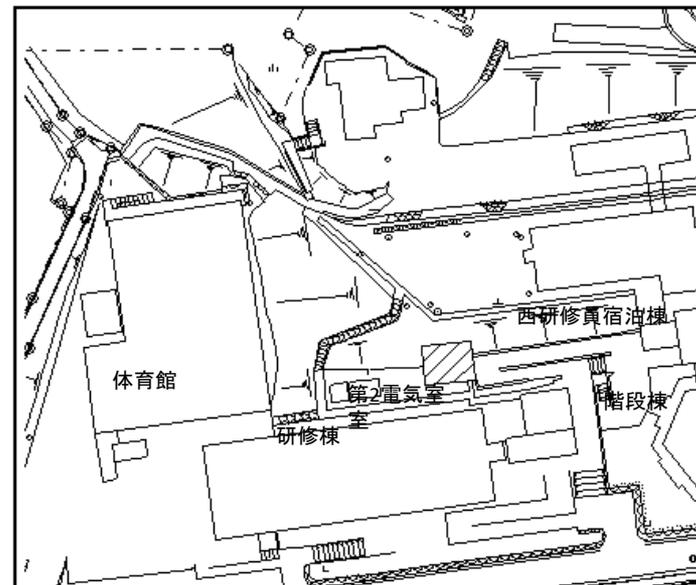
番号	名称
①	高圧受電盤
②	高圧コンデンサ盤
③	スコットランス盤
④	低圧電灯盤 NO1
⑤	低圧電灯盤 NO2
⑥	低圧動力盤 NO1
⑦	低圧動力盤



第2電気室平面図

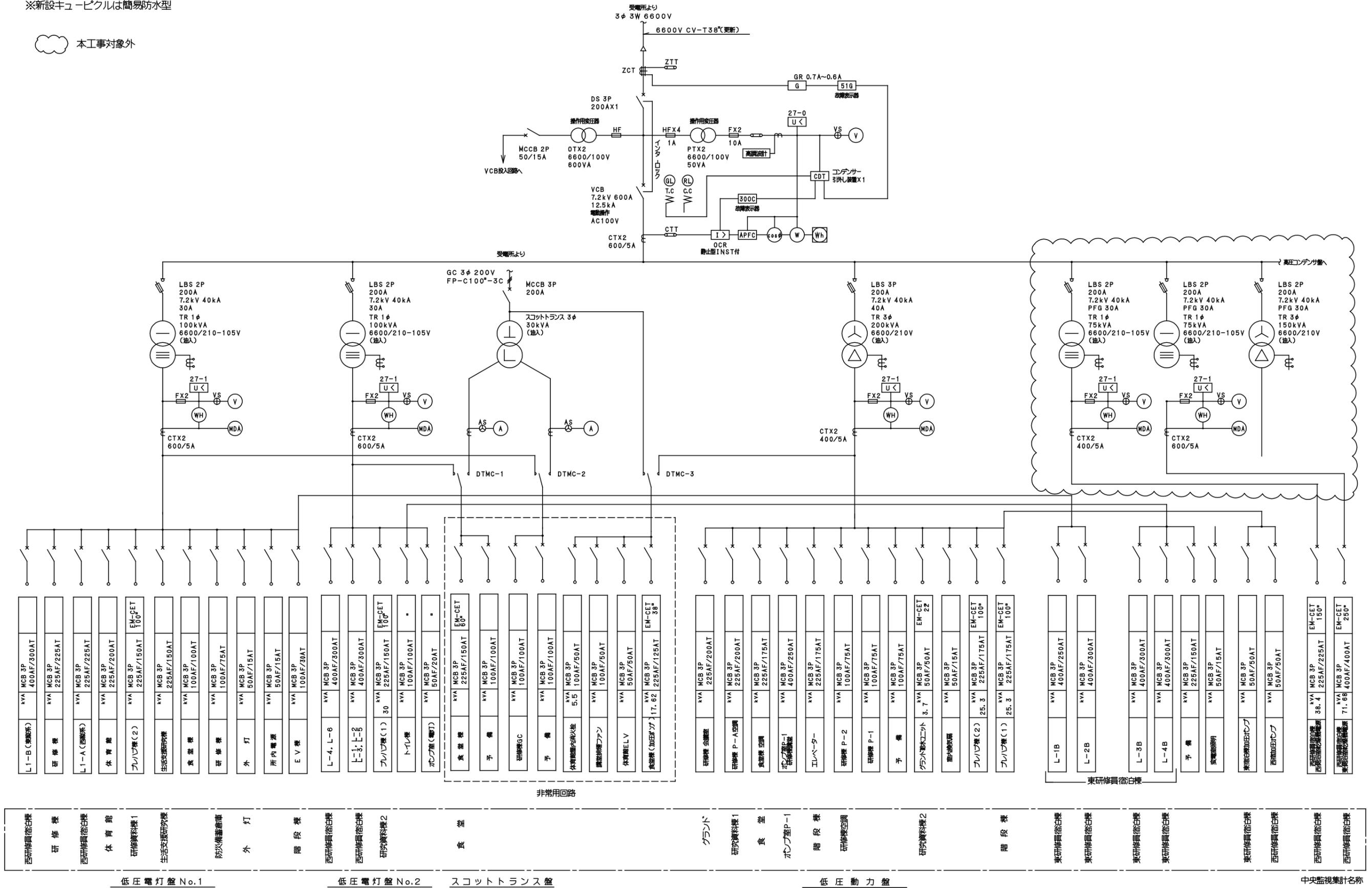
### <整備予定箇所>

 : 受変電設備範囲



※新設キューピクルは簡易防水型

☁ 本工事対象外

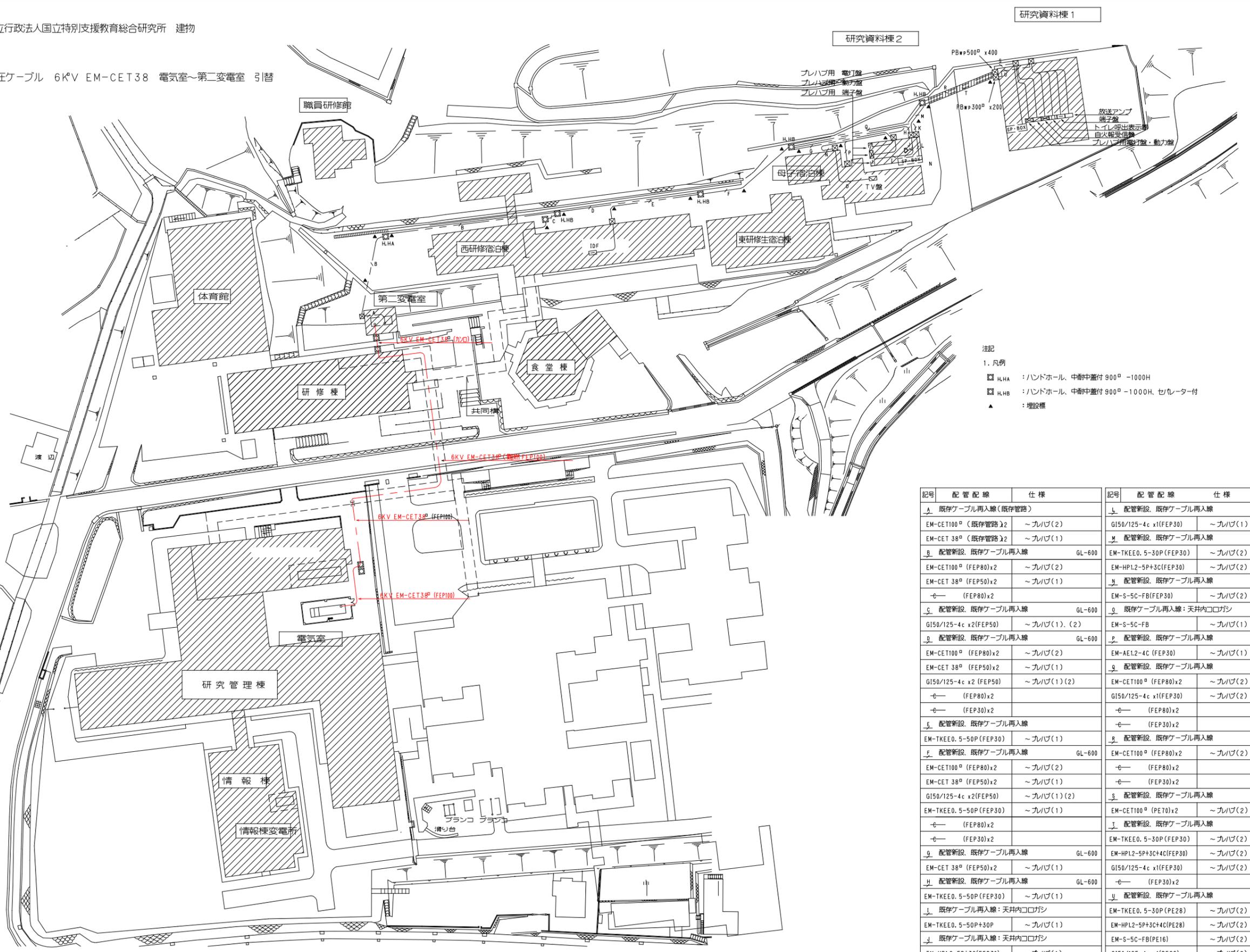
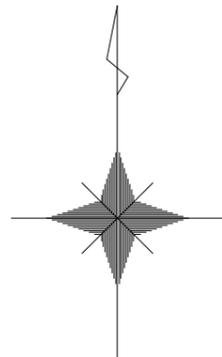


第一号 低電圧系統設計図



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 建物

高圧ケーブル 6kV EM-CET38 電気室～第二変電室 引替



注記  
 1. 凡例  
 □ H.HA : ハンドホール、中途中蓋付 900<sup>φ</sup>-1000H  
 □ H.HB : ハンドホール、中途中蓋付 900<sup>φ</sup>-1000H、セパレーター付  
 ▲ : 埋設標

記号	配管配線	仕様	記号	配管配線	仕様
A	既存ケーブル再入線(既存管路)		1	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
EM-CET100 <sup>φ</sup> (既存管路)2	~ プリブ(2)		G150/125-4c x1(FEP30)	~ プリブ(1)	
EM-CET 38 <sup>φ</sup> (既存管路)2	~ プリブ(1)		2	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
B	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600	EM-TKEE0. 5-30P(FEP30)	~ プリブ(2)	
EM-CET100 <sup>φ</sup> (FEP80)x2	~ プリブ(2)		EM-HP1.2-5P+3C(FEP30)	~ プリブ(2)	
EM-CET 38 <sup>φ</sup> (FEP50)x2	~ プリブ(1)		3	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
⊖ (FEP80)x2			EM-S-5C-FB(FEP30)	~ プリブ(2)	
C	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600	4	既存ケーブル再入線: 天井内コロガシ	
G150/125-4c x2(FEP50)	~ プリブ(1)、(2)		5	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
D	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600	6	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
EM-CET100 <sup>φ</sup> (FEP80)x2	~ プリブ(2)		EM-AE1.2-4C (FEP30)	~ プリブ(1)	
EM-CET 38 <sup>φ</sup> (FEP50)x2	~ プリブ(1)		7	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
G150/125-4c x2 (FEP50)	~ プリブ(1)(2)		EM-CET100 <sup>φ</sup> (FEP80)x2	~ プリブ(2)	
⊖ (FEP80)x2			⊖ (FEP80)x2		
⊖ (FEP30)x2			⊖ (FEP30)x2		
E	配管新設、既存ケーブル再入線		8	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
EM-TKEE0. 5-50P (FEP30)	~ プリブ(1)		EM-CET100 <sup>φ</sup> (FEP80)x2	~ プリブ(2)	
F	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600	⊖ (FEP80)x2		
EM-CET100 <sup>φ</sup> (FEP80)x2	~ プリブ(2)		⊖ (FEP30)x2		
EM-CET 38 <sup>φ</sup> (FEP50)x2	~ プリブ(1)		G	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
G150/125-4c x2(FEP50)	~ プリブ(1)(2)		EM-TKEE0. 5-50P (FEP30)	~ プリブ(1)	
EM-TKEE0. 5-50P (FEP30)	~ プリブ(1)		⊖ (FEP80)x2		
⊖ (FEP80)x2			⊖ (FEP30)x2		
H	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600	9	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
EM-TKEE0. 5-50P (FEP30)	~ プリブ(1)		EM-CET100 <sup>φ</sup> (PE70)x2	~ プリブ(2)	
I	既存ケーブル再入線: 天井内コロガシ		G150/125-4c x1(FEP30)	~ プリブ(2)	
EM-TKEE0. 5-50P+30P	~ プリブ(1)		⊖ (FEP30)x2		
J	既存ケーブル再入線: 天井内コロガシ		10	配管新設、既存ケーブル再入線	GL-600
EM-HP1.2-5P+3C(FEP30)	~ プリブ(1)		EM-TKEE0. 5-30P (FEP30)	~ プリブ(2)	
			EM-HP1.2-5P+3C+4C(FEP30)	~ プリブ(2)	
			G150/125-4c x1(FEP30)	~ プリブ(2)	
			⊖ (FEP30)x2		
			11	配管新設、既存ケーブル再入線	
			EM-TKEE0. 5-30P (PE28)	~ プリブ(2)	
			EM-HP1.2-5P+3C+4C(PE28)	~ プリブ(2)	
			EM-S-5C-FB(PE16)	~ プリブ(2)	
			G150/125-4c x1(PE22)	~ プリブ(2)	

外構図



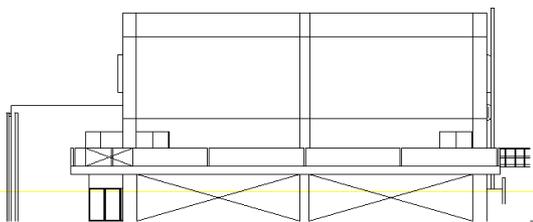
## 事業内容

本研究所の体育館は昭和52年度に建築され築37年が経過し現在に至っている。本体育館は、本研究所の研修事業の一環として、歩行訓練等の自立活動等に関する実技を伴う研修や、特別支援教育の理解・啓発活動の一環として研究所公開時における障害者スポーツの実技体験などをおこなっている。更には、今般、横須賀市からの要望を受け、災害時における防災協定を締結(令和7年3月)したところであり、今後本体育館は、横須賀地域で災害が発生した場合、地域住民を対象として、熱傷、骨折、創傷、打撲などの外科的な負傷者を対象に応急手当を行う場所(地域医療救護所)等としての活用がなされることとなる。

しかしながら、本施設の空調については送風機能のみを有した送風機が設置されているので、冷暖房設備が完備されていない状況である。本研究所の研究事業の実施時はもちろん、災害時における地域医療救護所として機能させる場合、冷暖房設備の完備は必須であることから、その整備のための経費を要求するものである。



体育館現状写真



体育館南側立面図

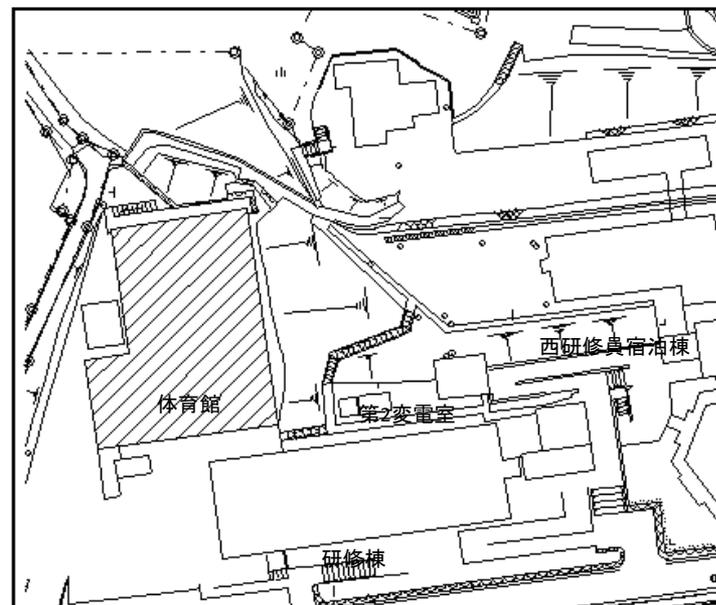


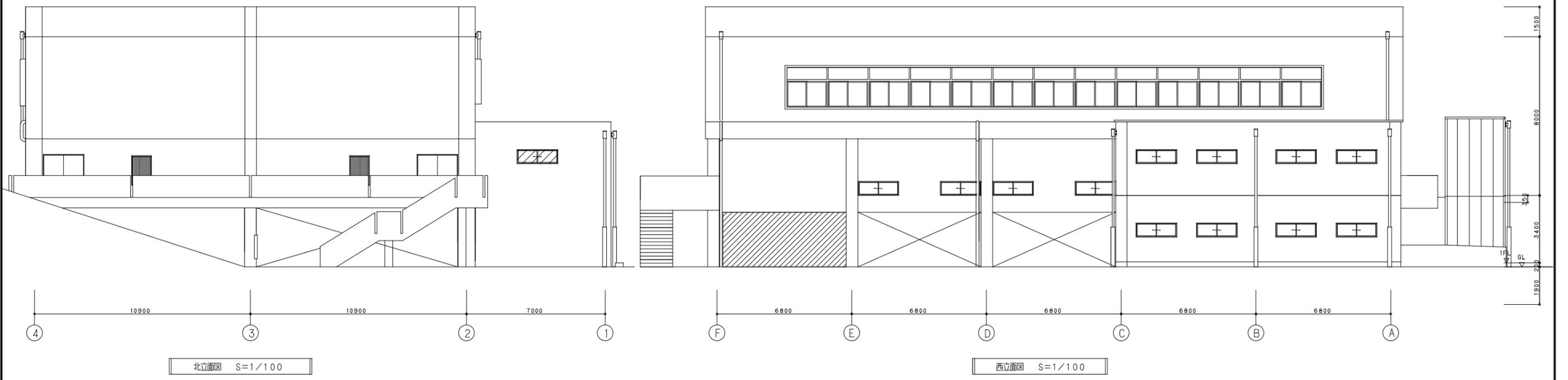
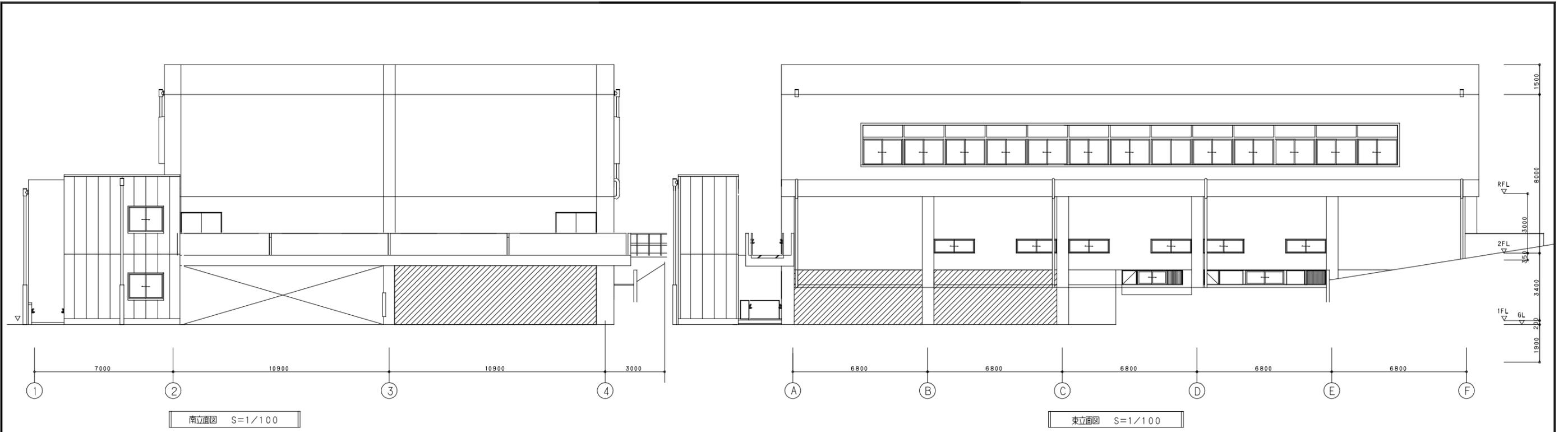
体育館2階平面図

<整備予定箇所>



:空調設備対象範囲





体育馆断面图

